



令和2年1月16日(木)

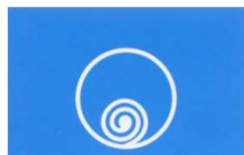
令和2年1月 鳴門市 定例記者会見



内容

バングラデシュ人民共和国・ナラヤンガンジ市との
友好都市提携に向けた意向書の締結

ボートレース鳴門 新イベントホール「UZU HALL」

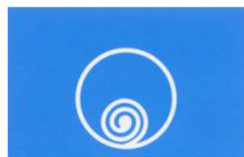


バングラデシュ人民共和国 ナラヤンガンジ(Narayanganji)市との 友好都市提携に向けた意向書の締結

令和2年1月16日 定例記者会見

鳴門市

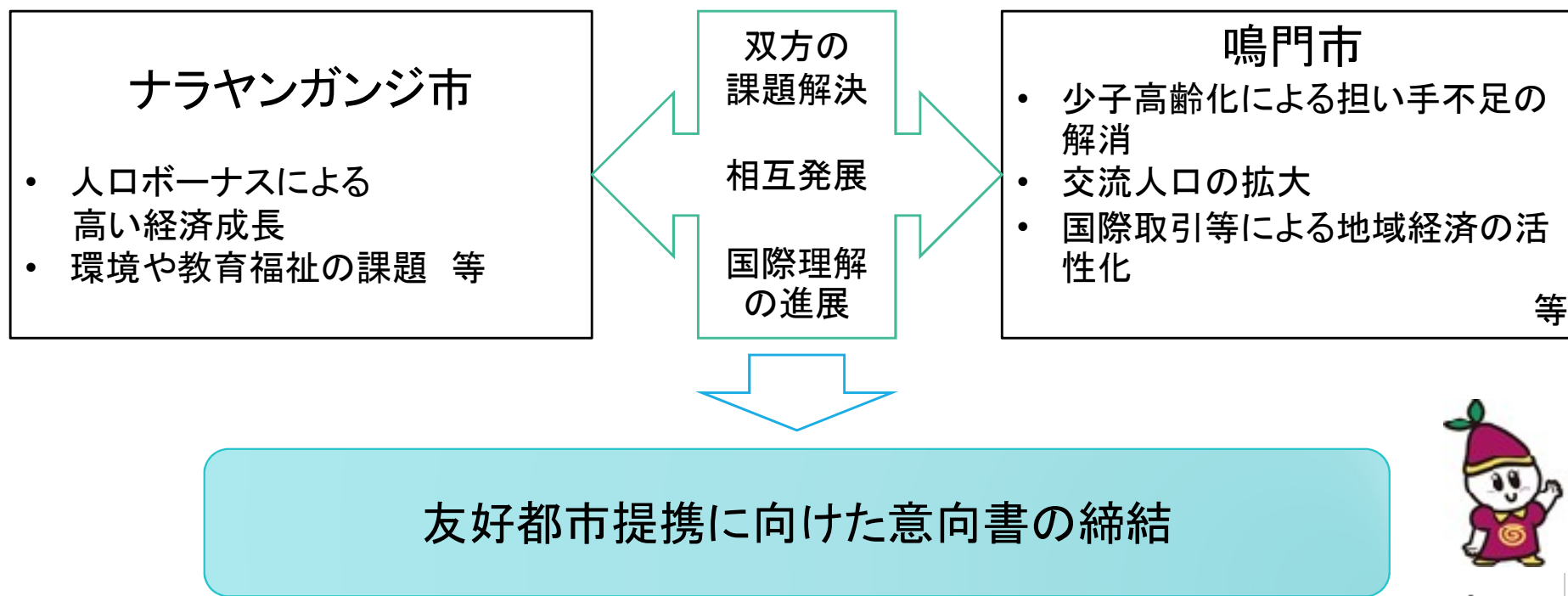


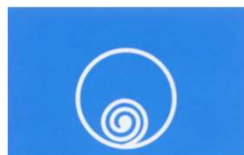


友好都市提携に向けた意向書の締結



- 国際友好都市提携は、バングラデシュ人民共和国では、初めて





意向書の締結式



【年月日】 令和2年1月28日(火)

【場 所】 バングラデシュ人民共和国 ダッカ 市内

【出席予定者】

ナラヤンガンジ市 アイビー市長

鳴門市 泉市長

バングラデシュ人民共和国

地方行政・農村開発・協同組合省 関係者

駐バ日本大使館 関係者

徳島・日本バングラデシュ友好協会

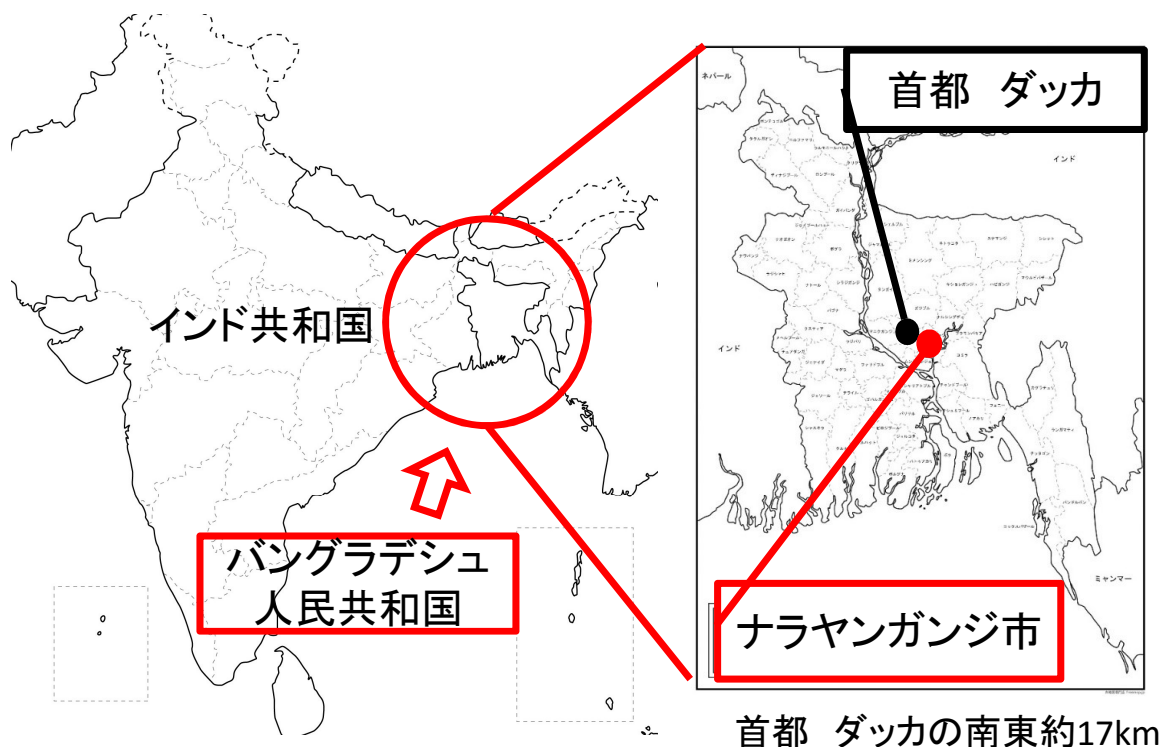
中岸会長 他

【意向書の概要】

- 相互の信頼と尊敬を礎として、これまでの友好関係をさらに推進するため友好都市盟約の締結を進めることに合意する。
- 文化交流、経済交流、教育交流、行政交流、人材交流など、様々な分野における交流を通じて、さらなる発展と互いの理解と連携を深めることに努める。



ナラヤンガンジ市の紹介



人口	約200万人	面積	72.43km ²
市制施行	1876年 英領 2011年 格上げ:現在に至る		
市長	セリナ・ハヤト・アイビー 市長 (女性)		
議員	36人	区	27区
産業	バングラデシュの商業と産業の中心地の1つ ジュート取引(歴史的)・セメント・鉄鋼・造船・ 発電・医薬品・繊維産業等		
歴史	- 大河川(シタラカヤ川)沿いの重要な貿易港を有し、古くからの交通の要衝 - ジュート貿易で有名な商業貿易都市		



交流の経緯



2009(H21)年

- 鳴門市の丸久株式会社が、ナラヤンガンジ市にあるアダムジーEPZに、進出

2015(H27)年

- 民間団体が、第1回 バングラデシュ・阿波踊りプロジェクトを開催

2016(H28)年

- アイビー・ナラヤゴンジ市長が鳴門市を訪問

2017(H29)年

- 第2回 バングラデシュ・阿波踊りプロジェクト開催
- 駐日バングラデシュ大使ほか、鳴門市を表敬訪問

2018(H30)年

- 鳴門・バングラデシュ 文化・経済・地域交流ミッションが、バングラデシュを訪問
(アイビー・ナラヤゴンジ市長や市議会議員と面談)
- 徳島 日本バングラデシュ友好協会の設立
(ナラヤンガンジ市との友好都市提携を目的)

2019(R元)年

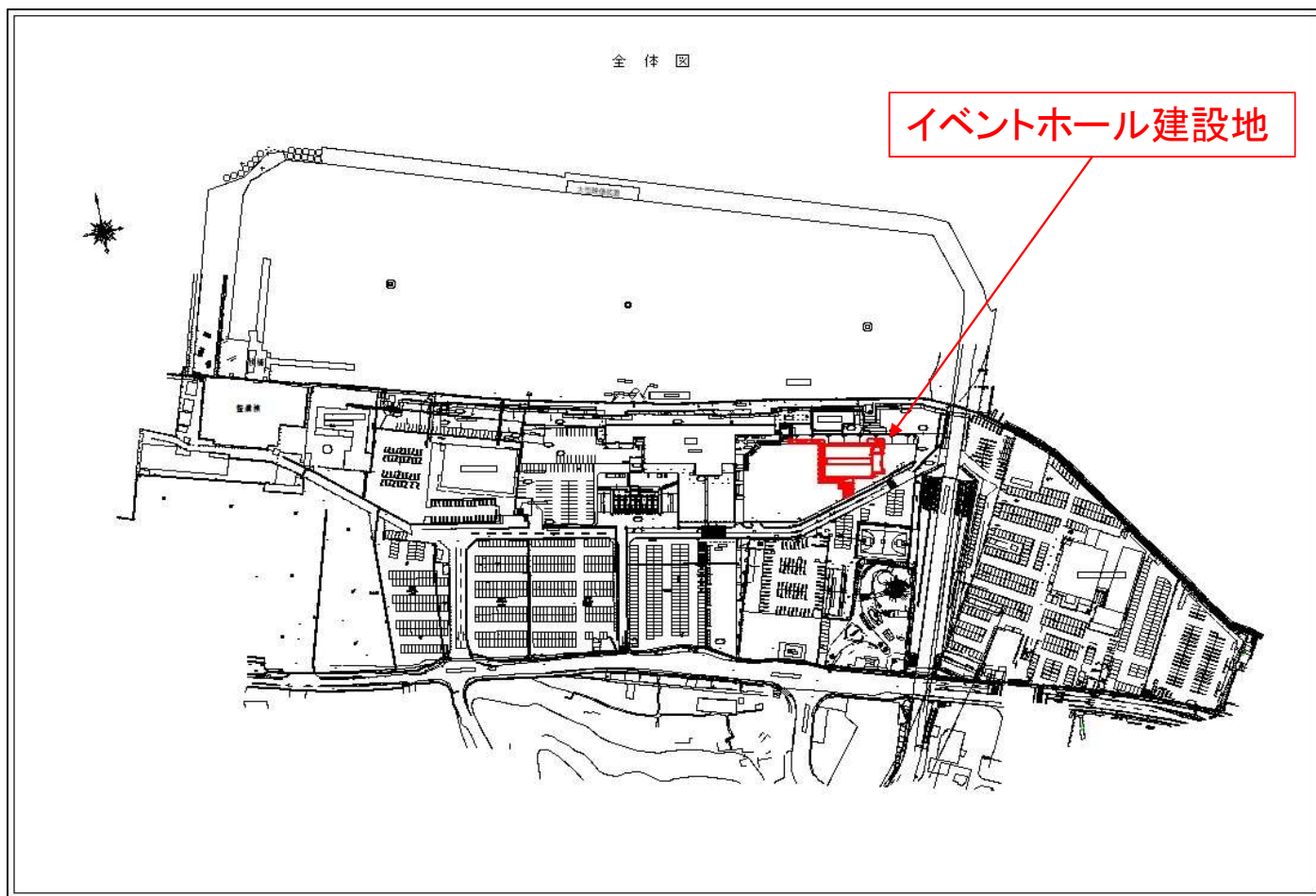
- 徳島日本バングラデシュ友好協会主催 の「バングラデシュ展」を、市役所庁舎やキョーエイ4階で開催
(駐日バングラデシュ大使館等から来賓)
- 市職員2名が、ナラヤンガンジ市ほか訪問
(ナラヤンガンジ市・外務省・総務省等)

新イベントホール 「UZU HALL」

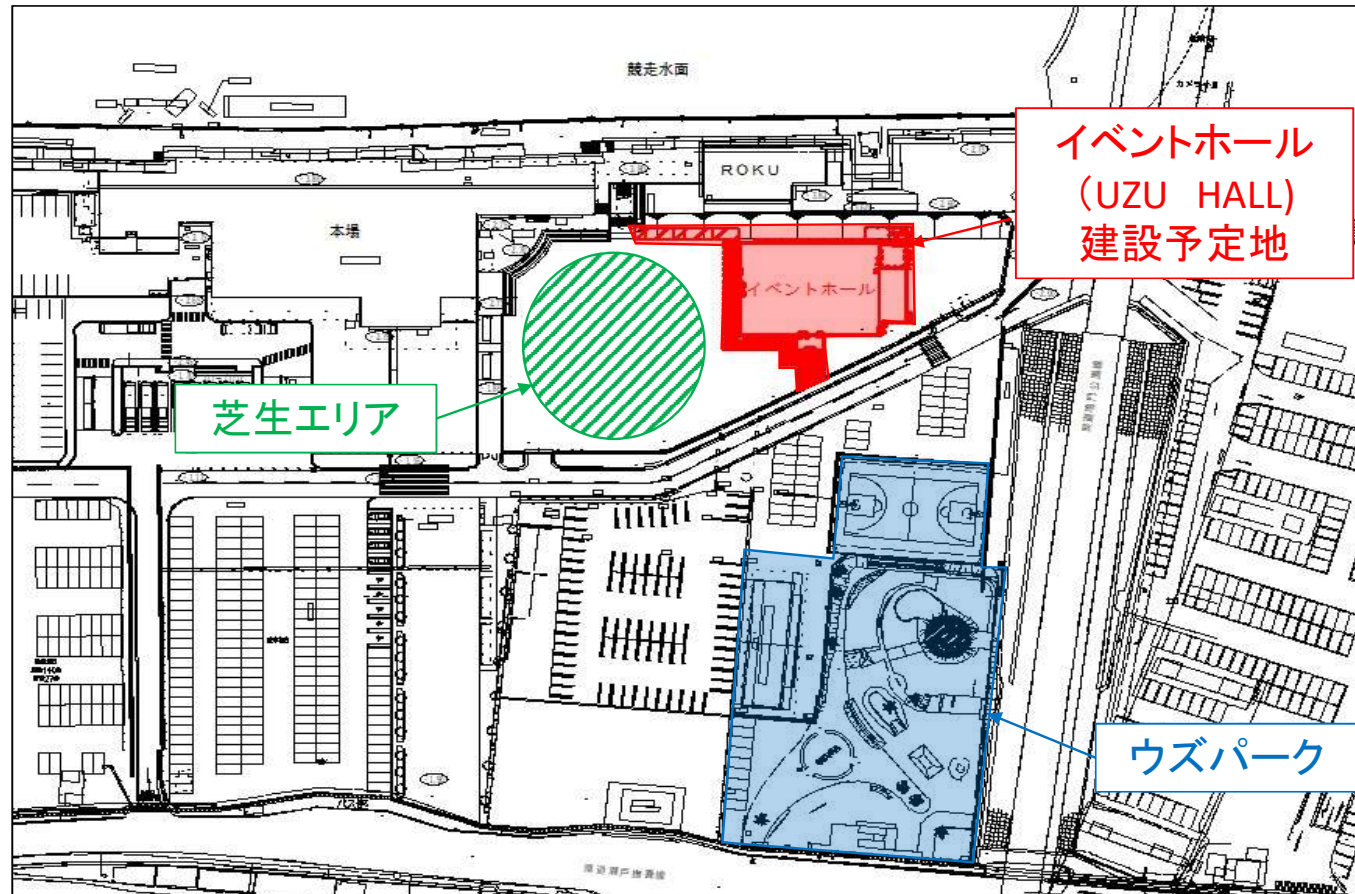


ボートレース鳴門

全体図



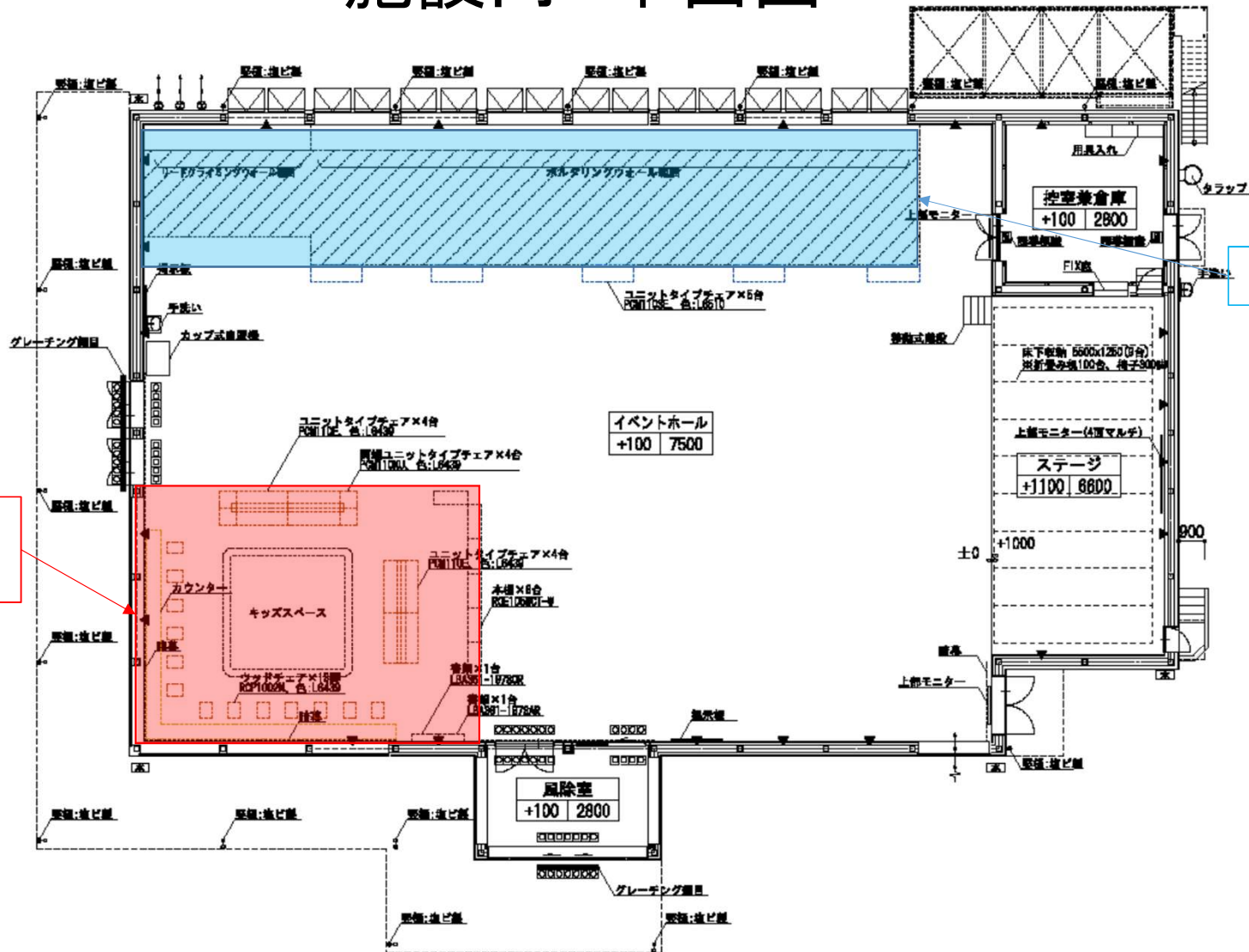
配置図



UZU HALLの概要

○用途	: 集会所(イベントホール)
○構造	: 鉄骨造
○建築面積	: 963.45m ²
○延床面積	: 897.31m ²
○設計・施工者	: 大和リース 株式会社
○施工監理	: 株式会社 歩デザイン
○工事期間	: 令和元年9月16日～令和2年2月10日
○総事業費	: 約3.2億円(鳴門市負担約2.8億円)

施設内 平面図



キッズスペース及び憩いのスペース

ボルダリング施設

ボルダリング施設

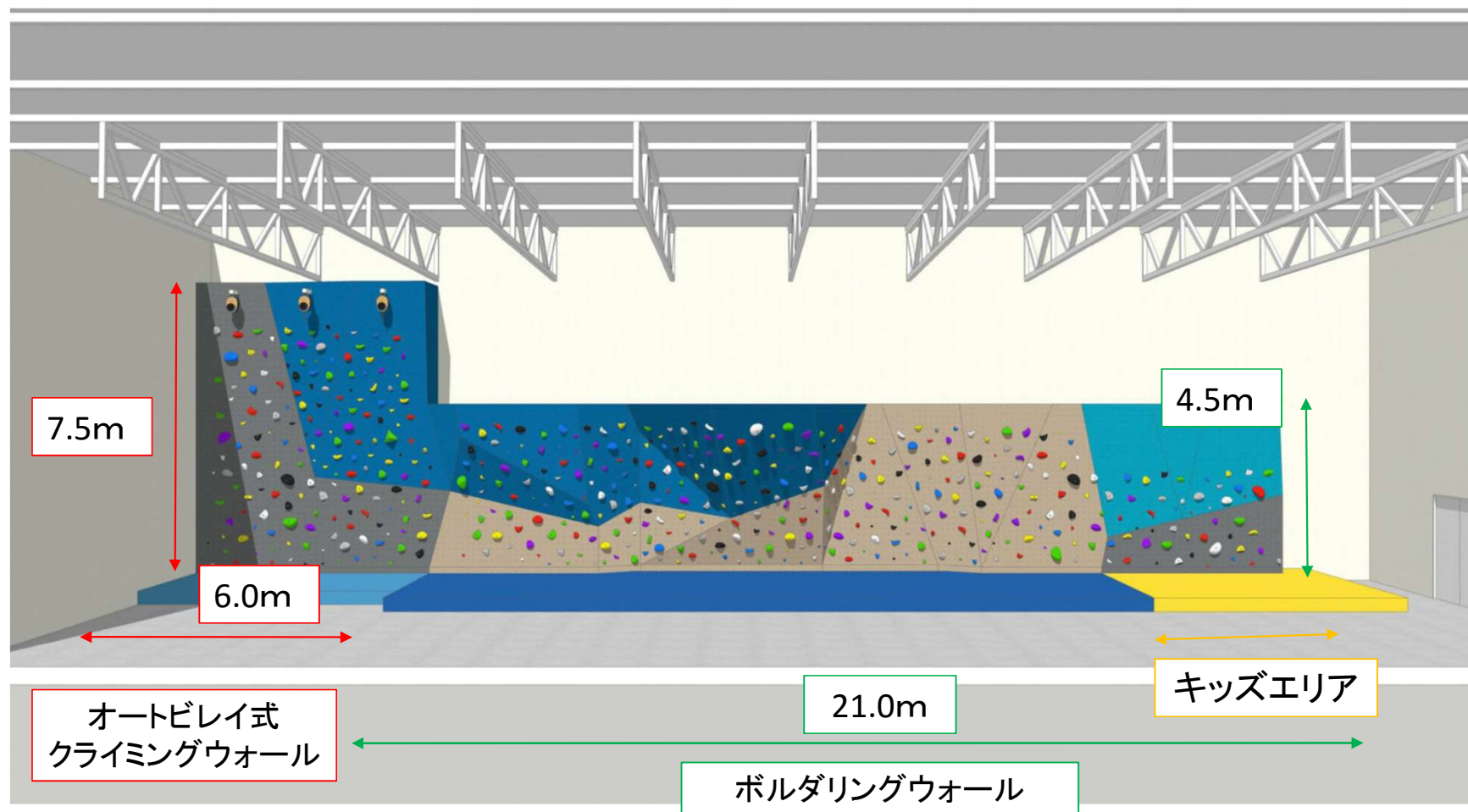
①オートビレイ式クライミングウォール

- ・高さ 7.5m
- ・幅 約6.0m
- ・オートビレイ 3基

②ボルダリングウォール

- ・高さ 4.5m
- ・幅 約21.0m
- ・エリアは、キッズエリアと一般エリアとに分かれており、さらにホールドの配置や壁の傾斜により難易度を変えた複数のコースを配置することで初心者から上級者まで幅広く楽しむことができます。

ボルダリング施設 イメージ図



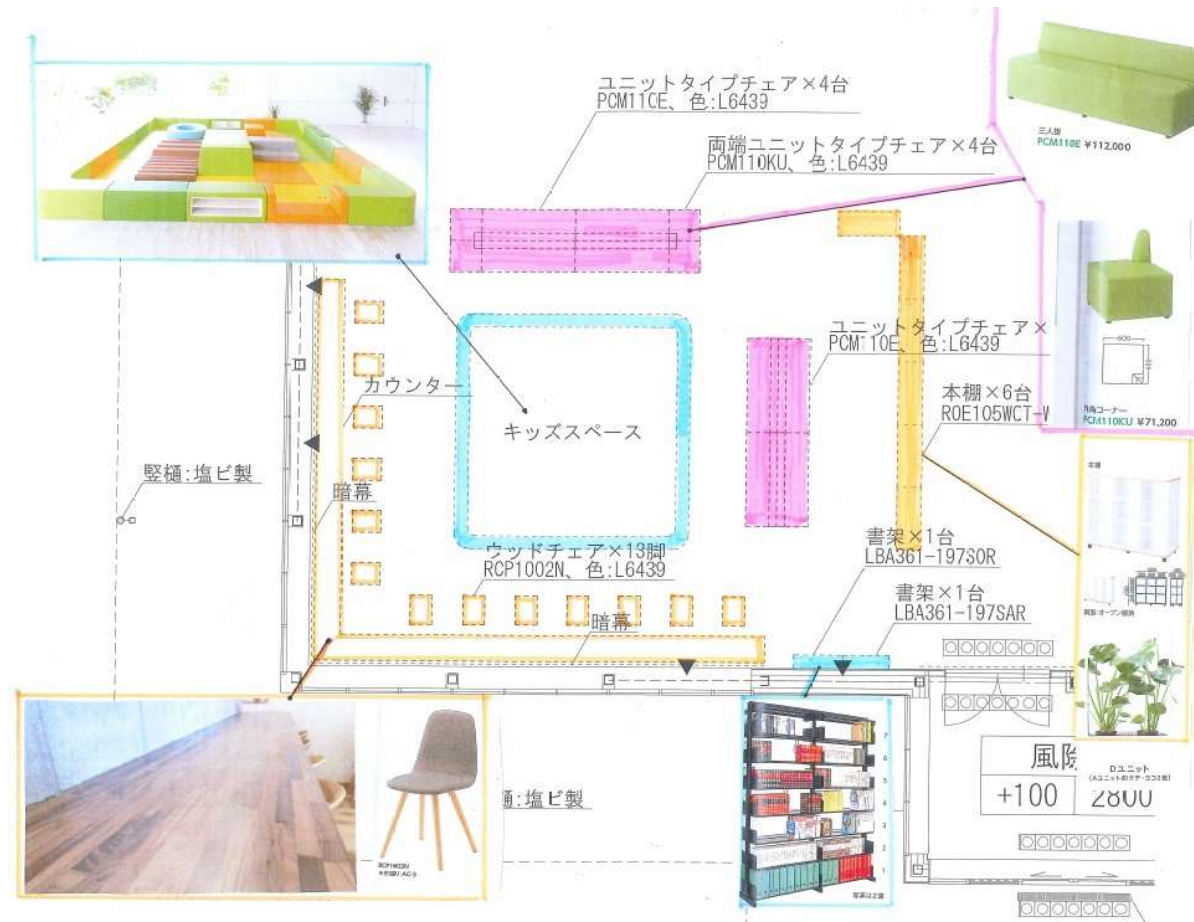
キッズスペース及び憩いのスペース

●中央にキッズスペースを配置し、これを囲うようにソファやチェアを設置することで子供やボルダリング利用者を見ながらくつろぐ事ができる場所を提供します。

●南西側をFIX窓としカウンターを設置することで、芝生エリアを眺めながら施設を利用することができます。

●書架を設置し約3000冊の漫画や雑誌等を置き、カウンターには充電用コンセントも配備することで、地域のコミュニティ拠点として様々な人が集まる場所を創出します。

キッズスペース及び憩いのスペース イメージ図



UZU HALLの運用

- ◎ UZUHALLは基本的に毎日開放予定(月1回程度の休場あり)、ボートレースのイベント開催時等を除き、ボルダリングウォールや憩いのスペースは常時利用することができます。
(レース開催日は入場料100円が必要、非開催日は無料となります)
- ◎ オートビレイ式クライミングウォールについては、管理者を付けるため土日曜日のみの利用とします。(小学生未満使用不可)
(体験料 中学生以上300円／1回、小学生100円／1回)
- ◎ 適宜、プロの選手によるデモイベントやインストラクターによるボルダリング教室を企画し、ボルダリング体験の機会を創出します。